

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年6月7日(水)  
午前11時29分から午前11時50分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長)井上真砂美(副委員長)伊藤隆信  
(委員)片岡健一郎、鬼頭博和、堀江珠恵、日比野走、榭谷規子  
欠席委員 なし
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

井上委員長：行政調査について、テーマや見たいところなどの意見はないか。

片岡委員：何月頃か、ある程度候補日を挙げてもらい、各委員それぞれテーマなど意見があると思われるから、次回までに募集してそれを協議したらどうか。方法としては、改選前から行っているが、今年度のラインのグループを作り、そこで意見を集約していけばいいと考える。

井上委員長：まずライングループをとの意見が出た。昨年度も委員会でライングループを作り日程等を調整したが、グループラインを作ることに異議はないか。

日比野委員：ラインのグループ自体には異議はないが、ラインワークスを使っているものになるのか。現状、事務局と議員15人のラインワークスがあるが。

片岡委員：通常のラインか、ラインワークスかとの話か。通常のラインでいいと思う。ラインワークスは全体を管理するものと位置づけしている。

井上委員長：ライングループを作ることに異議なしと認める。

候補日についてであるが、総務・産業建設常任委員会では11月1・2日とか6・7日の意見が出ていたので、そこを避けて次の13日の週はどうか。月曜日は閉館の所もあるため、14・15・16日、候補地が決まったら日程も詰めていけるので、その辺を空けておいてほしい。10月は行事が多く、11月も多いが。可能ならば視察に行ったところをより深く政策提言につなげるようにしたい。

片岡委員：10月の最後の週はどうか。

井上委員長：10月の23日の週、24日からになるが。都合が悪いならばグループラインで報告してもらおう。

行政調査としてしたいことは何かないか。

鬼頭委員：こども食堂が岩倉には今1カ所しかない。民間だけに頼るのではなく、

行政も加わりながら運営している自治体もあるので、そういったところを見ていきたい。具体的には決まっていない。

片岡委員：保育園に絞っていきたい。統合保育園も予定されており、今後残りの保育園も統合する計画になっている。先進的な事例を見ていきたい。運営の手法についても公設なのか民営なのか、いろいろあると思うが、福岡県の糸島市が面白い取り組みをしているので、候補地として考えていただければと思う。また調べて、ライングループができればそれぞれ意見を挙げればいい。

井上委員長：子育て支援関係は厚生文教でぜひやっていきたいと思う。

梶谷委員：補聴器の助成をしているところがあるが、新潟なので少し遠い。

井上委員長：新潟と福岡だと難しい。

片岡委員：新潟で探せばいいし、九州でも補聴器関係はあると思う。

伊藤委員：今出ているのは少し遠い所であるが、2泊の予定でも可能か。

事務局：行政調査に関しては過去から予算組みして公費で行っている。コロナ禍前の令和元年度までは総務、厚生それぞれ行政調査を開催して、基本2泊の予算を確保しており、2泊3日で行っていた。必ず2泊というわけではないが、3泊は予算上厳しい。それから日程について、11月中旬との話が出ているが、過去には10月に行っていた。先進自治体の取り組みを一般質問に取り入れる場合、11月の中旬に調査に行く間に合わないのではないかとということが1点、平成30年度から始まった委員会代表質問は12月に行っているため、10月に行政調査を行って委員会代表質問を行う場合、委員全員の合意のもとでの質疑となっており、短期間でかなり質問を厳選した経過も過去にはあったということがもう1点。委員会ごとに政策提案をするならば逆算して11月ではどうかということもあるが、申し合わせや慣例で10月11月に行わなければならないということはないので、参考にしていきたい。

片岡委員：委員会代表質問をやるのか、政策提言にとどめるのか、やるとしたらいつか。私が総務の委員長をしていた時は3月に代表質問をしたので、12月にこだわる必要はないかと。それを決める必要があると思うが、次回の協議会で、行政調査を生かしていくのか決めて、日程や行き先を決めていったらいいと思う。

井上委員長：政策提言はしなくてはいけないと思うし、代表質問もお互いの研鑽を積むということで、集まることはよいと思うので、委員会代表質問をやっているような形で候補地を探していきたい。やっていく方向で進めていくがよろしいか。

鬼頭委員：政策提言となると、これまで1年単位でやってきたものがほとんどである。新しい委員も入ったので、2年くらいかけて、長期的な視野でやってみたらどうかと考える。政策提言を進める上で、代表質問もあってもいいか

と。

井上委員長：子育て支援ということでいろいろ出ている。先ほど出てきたこども食堂も保育園も、子育て支援が関わっている。どのような子育て支援をしたらいいか、行政視察も含めてやっていきたいと思う。日程についてはどうするか。11月はやめて、10月の16日の週でよろしいか。他の予定があったらラインで伝えてほしい。候補地については、6月16日協議会を開催するので、それまでにラインで挙げてもらいたい。

## (2) その他

特になし。

### 10 その他

井上委員長：報告であるが、厚生文教常任委員会で市民体育祭の委員会に出席した。今年度はコロナ前に戻った形で行うとのこと。リレーも区によっては難しい所もあるが、できる範囲で区対抗をやっていきたいとの意見がでていた。日程は10月1日の予定で、雨天中止。

また別件で、日程は未定であるが、委員会代表として青少年問題協議会に出させていただく。子どもに関することで意見などあれば伝えてほしい。

日比野委員：先ほどの視察の候補地の件で、岩倉市とは規模が異なっている、興味を持った自治体でもよいか。

片岡委員：基本的には同じ規模の自治体のほうが参考になる。

井上委員長：先進事例を見たいという場合もあるから、意見として出してもらえれば。